

3. IR区域が整備される地域及び関連する施策等（IR区域の整備の推進）

（1）国際アクセス

和歌山IRへの国際アクセスの中心となる関西国際空港は、2019年の統計データで国際線の乗降客数が成田国際空港に次ぐ2位となるなど日本の代表的な空のゲートウェイとして機能しており、多様な国からのアクセスが可能であり、世界42都市から年間2,800万人以上の航空旅客を受け入れている。

特に、和歌山IRの外国人旅行者の上位を占めると想定する中国を中心とした東アジア諸国や米国などからの十分なアクセス基盤を有していると判断しており、国際アクセスの観点で高い優位性を備えている。

また、更なる国際アクセスの強化のため、南紀白浜空港では、国際チャーター便をスムーズに受入できるように、国際線ターミナルビルの整備を進めており、2022（令和4）年度オープンをめざしているところである。

（2）国内アクセス

大阪、京都、神戸などの都市圏から鉄道を利用して2時間以内でのアクセスが可能な立地である。東京からも飛行機や新幹線での高頻度のアクセス性を有するなど、首都圏からのアクセスの観点でも高い優位性を備えている。

また、自家用車でも高速道路を利用することで、大阪、京都、神戸などの都市圏から2時間以内でアクセスが可能である。

① 航空ネットワーク

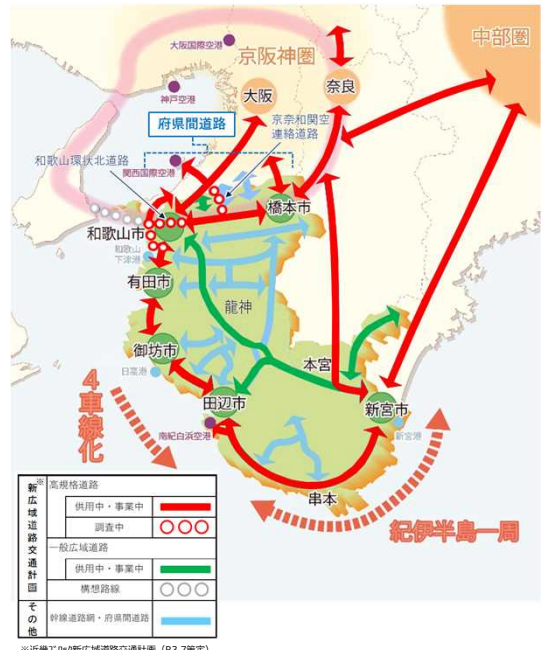
- 関西国際空港では、国内15都市から年間約650万人の旅客を受入
- その他の拠点として、南紀白浜空港、大阪国際空港、神戸空港があり、各空港からは道路、鉄道ネットワークによりアクセスが可能

② 鉄道ネットワーク

- 東海道・山陽新幹線が東京方面、博多方面から高頻度で運行
- 新大阪駅からは1日あたり、18本の特急くろしおが運行

③ 道路ネットワーク

- 道路網についても十分に整備されている。例えば、大阪、神戸から90分圏内、京都・奈良・大津といった関西主要都市から120分圏内、津からも約160分、名古屋からも約200分でのアクセスが可能
- 四国からも、徳島からは約3時間、高松からは約4時間、高知及び松山からは約5時間でアクセス可能
- 今後、以下の道路ネットワーク拡充を予定
 - ✓ 近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一周高速道路整備及び4車線化
 - ✓ 京奈和自動車道の整備

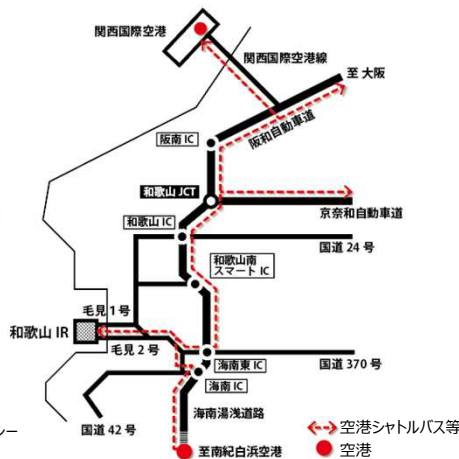


（3）域内アクセス

和歌山IRは、和歌山市の南部の人工島であるマリナシティに設置され、和歌山市内方面からはサンブリッジ、海南市内方面からムーンブリッジを通してアクセスする2ルートが整備されている。



鉄道・バスなどのネットワーク



道路ネットワーク

鉄道・バスなどのネットワーク(最寄り駅～和歌山IR)

方面	所要時間など
南海和歌山市駅	30分程度（約11km）
JR和歌山駅	30分程度（約10km）
JR海南駅	15分程度（約4km）

道路ネットワーク(近郊IC～和歌山IR)

方面	所要時間など
(大阪、和歌山市内方面)	
・和歌山南SIC	・30分程度（約10km）
・海南東IC	・15分程度（約6km）
(紀南方面)	
・海南IC	・15分程度（約5km）

3. IR区域が整備される地域及び関連する施策等（IR区域の整備の推進）

（4）交通環境の改善

- 「大規模開発地区関連交通計画マニュアル（国土交通省）」に基づき、和歌山IRの開業に伴う交通影響予測評価を、自動車の主要動線となる「主要幹線道路」、交通結節点となる「駅前広場」、IR区域内の「駐車場」などについて実施（和歌山IRへの来訪手段は、施設用途・規模から試算し、自動車40～50%、鉄道40%程度、バス10～20%と設定）

※現在、上記マニュアルに基づき、影響範囲が限定された検討を実施し、交通量等を推計しているが、区域整備計画の認定後、影響範囲が大きいことも踏まえ、4段階推定法等の手法を用い、交通計画を改めて検討する。その上で、道路管理者、交通管理者などと詳細な協議・調整を行い、適切な「道路整備」「公共交通整備」の実現に向け連携して取り組む。

※年数回開催予定の最大規模のMICEを想定したハード対応は行わず、交通量抑制施策などソフト対策（臨時駐車場からのパークアンドバスライドなど）で対応予定

① 道路整備

道路への影響（交差点需要率、車線別の混雑度）を評価し、必要な対策を実施

- 開業後の交通量増加に伴い「マリーナ入口」「琴の浦」交差点などにおいて交通混雑の発生が想定されるため、道路管理者との協議のうえハード対策（交差点改良など）や、交通管理者と連携したソフト対策（信号現示の調整など）の実施を検討

② 公共交通の整備

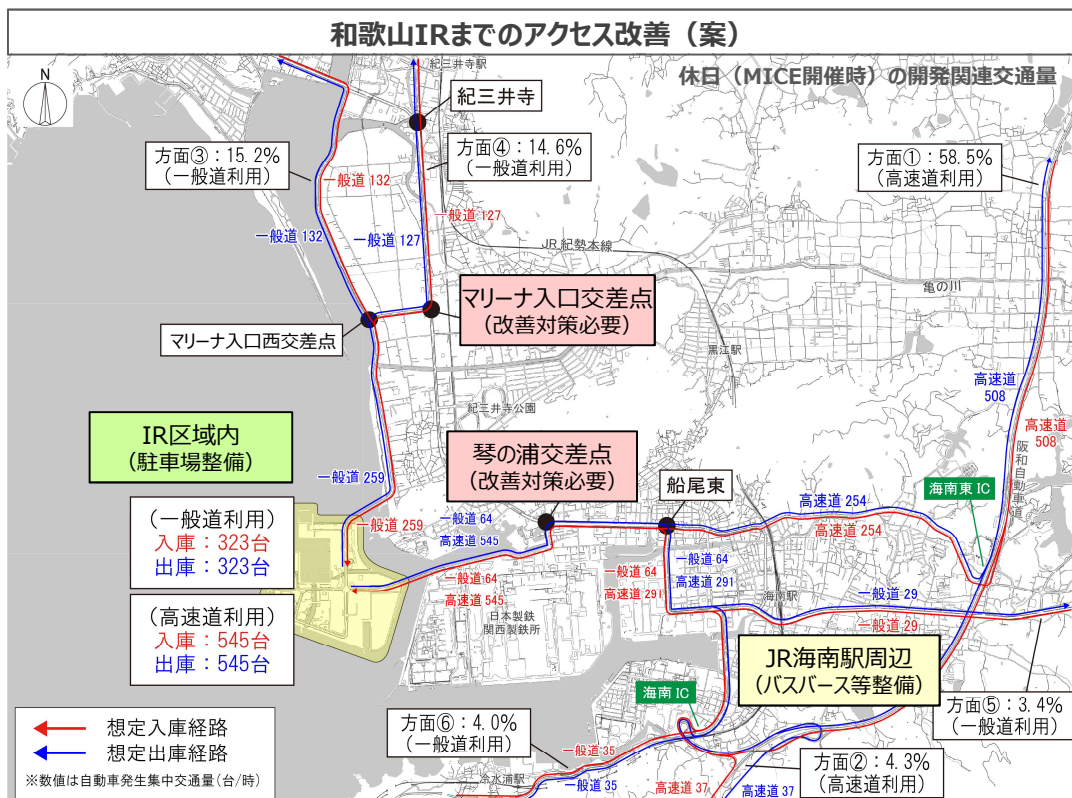
空港・鉄道利用者の和歌山IRまでのアクセス手段を確保

- 関西国際空港、JR海南駅、南海和歌山市駅等からシャトルバスの運行を検討
- アクセス手段多様化のため次世代交通の導入を検討
- JR海南駅前広場もしくは駅近郊にシャトルバス運行に対応した乗降車バス、バスプールの整備を検討

③ 交通安全施設の整備

和歌山IR開業で生じる交通流の急激な変化等に対応

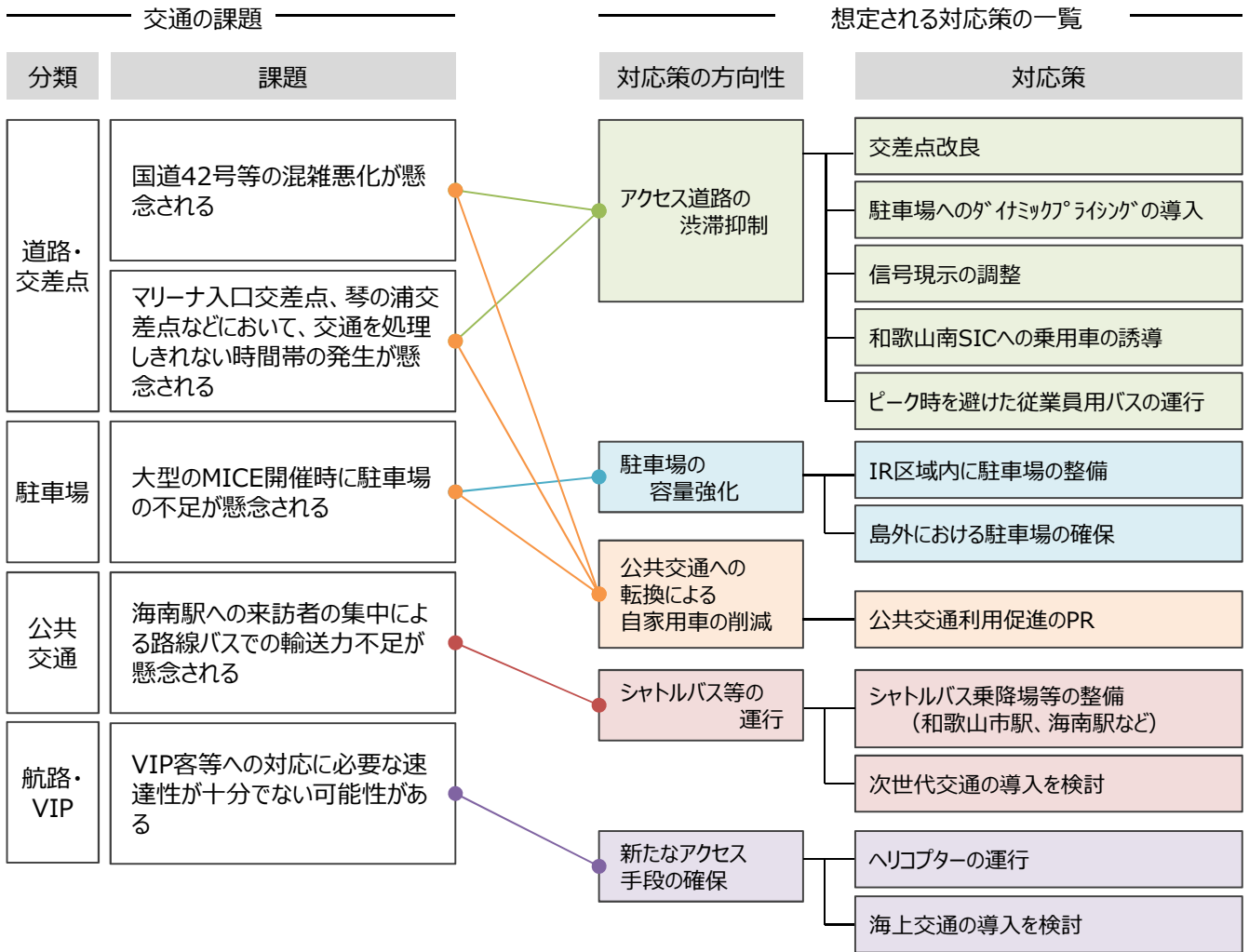
- 最新の交通管制システムの構築を検討
- IR区域周辺及び観光地周辺において必要となる交通安全システム（公共車両優先システム、信号情報活用運転支援システム、安全運転支援システム等）を整備



現時点版であり、今後の検討に伴い変更する可能性があります

3. IR区域が整備される地域及び関連する施策等（IR区域の整備の推進）

対応策の一覧



(5) 周辺地域の開発及び整備

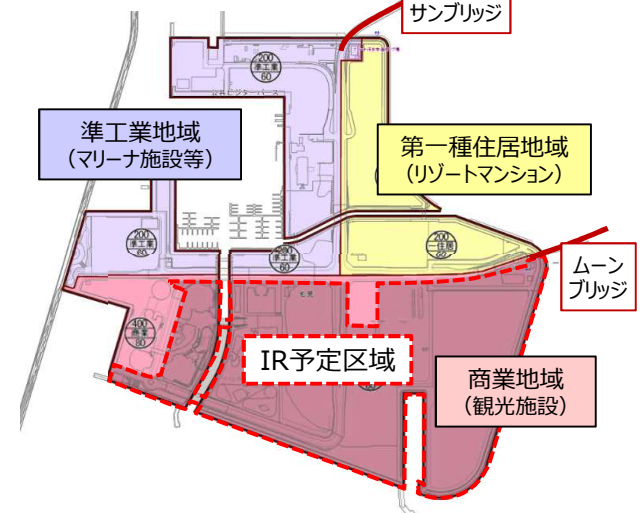
都市計画制度による位置づけ

マリーナシティは、リゾート地として開発された人工島であり、都市計画法に基づく諸制度を大きく変更することなく、すぐにでもIRの開発が可能なエリアである。

和歌山市都市計画マスタープランでの位置づけ
⇒ **観光レクリエーション機能ゾーン**（現状維持）

用途地域 ⇒ **商業地域**（現状維持）

<マリーナシティの用途地域>



マリーナシティ周辺の整備

- マリーナシティ周辺の港湾施設（臨港道路等）のリニューアル、島内へのアクセス道路の橋梁の老朽化・耐震化対策の実施を検討
- 電気・ガス・上下水道等のインフラについては、IR事業者と施設管理者との協議の上、必要に応じた整備を実施

3. IR区域が整備される地域及び関連する施策等（滞在型観光の実現）

（1）MICE誘致のための施策及び措置

和歌山MICEならではの価値を創出し日本の産業力強化・プレゼンス向上に寄与

最先端テクノロジーを活用したIRによるこれまでにない体験と、古くから受け継がれてきた和歌山の美しい自然や伝統・文化の実体験のいずれもが楽しめるMICE環境を整備するとともに、幅広い産業分野におけるMICE開催を可能とする広域連携の取組を強化する。（プロモーション等MICE誘致に係る施策はP11参照）

実施する主な施策	実施期間	
	開業前	開業後
地域資源を活用したMICE関連プログラムの充実 ・ユニークベニューの開発支援（歴史的建造物、ビーチの活用等） ・プレ・ポストMICEなど来訪者の周遊・滞在をサポートするプログラムの開発支援（ワーケーション施設との連携、テクニカルビジット、エクスカージョン等） ・広域的な協力体制及び連携プログラムの構築	○	○
既存MICE施設のポストコロナ時代への対応 ・オンライン会議設備機能の整備支援 ・国際的な衛生認証制度の取得支援	○	○
MICE専門人材の育成・地域の機運醸成 ・高等教育機関等と連携したリカレント教育・セミナーの開催支援 ・地域住民の理解を醸成するシンポジウム等の開催支援	○	○

（2）観光振興のための施策及び措置

和歌山IRの誘客効果を地域経済の振興につなげIRの整備効果を最大化

- 和歌山及び観光街道内の受入体制の整備や魅力発信を、区域認定後からIR開業までの間集中的に実施する。
- 区域認定後、「観光街道推進協議会」を設立し伊勢湾、紀伊半島、四国の自治体等の参画を図るなど、近隣府県等との広域連携事業を展開する。特に、セーリングのナショナルトレーニングセンターを有するなどマリンレジャーの聖地であるマリナシティの特性を生かし、ヨットでの広域周遊観光など海での楽しみを最大限満喫できる環境を整備する。
- IR事業者との連携により旅行者に係るビッグデータを収集・分析し、その結果を施策改善や和歌山県内事業者に還元する仕組みを構築する。

実施する主な施策	実施期間	
	開業前	開業後
マリナシティに隣接する和歌浦湾周辺をリゾート空間として一体整備	○	
和歌山下津港本港区への大型旅客船ターミナルの整備	○	
和歌山市の主要観光地整備（和歌山市実施）	○	○
和歌山県内全域で魅力ある観光地づくりやインバウンド対応の推進（観光基盤整備補助金）	○ (集中実施)	○
交通体制の構築など観光街道の形成に必要な受入環境の整備（IR事業者実施）	○ (集中実施)	○
美術館、博物館の大規模改修、展示物や博覧会の充実及びMICE施設との連携強化		○
世界遺産や指定文化財の保全・活用に係る支援強化		○
地域交通や宿泊事業者と連携した紀伊半島周遊MaaSの構築	○	
和歌山IRを起点とした和歌山県内周遊バスネットワークの構築・運営支援	○	○
サイクリングロードの利用環境向上		○
人材育成 和歌山大学等高等教育機関と連携した国際観光人材の育成	○	○
富裕層対策 南紀白浜空港へのビジネスジェット基盤の整備	○	
ヘリポートやチャーターヨットの環境整備、ラグジュアリーホテルの誘致などへの助成	○	○
国内外プロモーション 国内及び和歌山県がターゲットとする国・地域での商談会、見本市等への出展	○ (集中実施)	○
宣伝効果の高い有カメディア媒体を通じた継続的な情報発信	○ (集中実施)	○
データ収集・分析 旅行者に係るビッグデータの収集・分析基盤（和歌山版DMP）の構築、運営	○	○
推進体制 (公社) 和歌山県観光連盟の強化	○	○